

現場説明書

1 工事名 小雀系送水管電気防食工事 (2019 の 1)
2 監督員 技術部 水道施設課

説明事項

1. 入札等に関する事項について

- (1) この工事の入札又は見積(以下「入札等」という。)は、工事請負契約書又は工事請負請書(以下「契約書等」という。)、入札公告又は指名競争入札執行通知書及びこの説明書に記載する条件により、横須賀市の上下水道局契約規程によりその例によることとされている契約規則、契約履行規則及び工事等検査規則(以下「契約規則等」という。)に従って行う。
- (2) 入札等後は、設計書、仕様書及び図面(この説明書及び質問回答書を含む。以下「設計図書」という。)、契約書等若しくは契約規則等の内容又は工事場所の状況について、不明等を理由として異議の申立てはできないので、入札等前に十分究明すること。

2. 契約の保証について

契約の保証 要 不要

契約の保証を付す場合は、落札者は、契約書等の案を提出するとともに、次の各号のいずれかの書類を提示又は提出すること。ただし、契約保証金の額、保証金額又は保険金額は、請負代金額の 100 分の 10 以上とすること。

- (1) 契約保証金の納付を証する領収書
- (2) 契約保証金に代わる担保としての国債又は地方債等
- (3) 債務の不履行により生ずる損害金の支払を保証する銀行、横須賀市上下水道事業管理者が確実と認める金融機関又は公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和 27 年法律第 184 号)第 2 条第 4 項に規定する保証事業会社の保証書
- (4) 債務の履行を保証する公共工事履行保証証券による保証証券
- (5) 債務の不履行により生ずる損害をてん補する履行保証保険契約の証券

3. 前払金について

前払金 する しない

前払金を受けようとする場合は、その旨を申し出ること。

4. 中間前払金について

中間前払金 する しない

中間前払金を受けようとする場合は、申請手続が必要なので、要件を満たした旨を申し出ること。

5. 部分払について

部分払 する(回以内) しない

6. ~~継続事業に係る工事の各会計年度別支払限度額及び前払金について~~

- ~~(1) 継続事業に係る工事の各会計年度における請負代金額の支払限度額及び前払金の上限割合は、次のとおりである。~~

会計年度	支払限度額 <small>(請負代金額に対する割合)</small>	前払金の上限
初年度(年度)	 %	支払限度額・請負代金額の %
第 2 年度(年度)	 %	支払限度額・請負代金額の %
第 3 年度(年度)	 %	支払限度額・請負代金額の %

- ~~(2) 各会計年度における請負代金額の支払限度額は、請負者決定後工事請負契約書を作成するまでに請負者に通知する。~~

7. 契約に関する事項について

(1) 設計図書関係

- ア 土木工事等の場合における工種別等の契約数量は、設計書の数量の内訳書に表示された数量による。
- イ 仮設、工法等工事目的物を完成するために必要な一切の手段については、設計図書に特別の定めがある場合を除き、請負者の責任において定めること。
- ウ 契約の締結にあたっては、契約書等に設計図書を袋とじし、割印をすること。ただし、図面が大型等の場合にあつては、別冊とすること。

(2) 提出書類関係

- | | |
|------------------|--|
| ア 請負代金内訳書 | 要提出(契約締結後7日以内)
提出不要 |
| イ 工 程 表 | 要提出(契約締結後7日以内)
提出不要 |
| ウ 着 手 届 | 着手後5日以内に提出すること。 |
| エ 現場代理人及び主任技術者等届 | 契約までに現場代理人及び主任技術者等の経歴書も同時に提出すること。 |
| オ 下請負関係書類 | 下請負を発注の都度、下記書類の写しを提出すること。
・施工体制台帳
・施工体系図
・再下請負通知書(再下請負の発注がある場合) |
| カ 直 営 工 事 届 | 下請負を発注しない又はその予定がない場合は、遅滞なく提出すること。 |

(3) 監督員通知関係

監督員を2人以上置くこととした場合において、権限を分担させるときは、各監督員の権限の内容を別に通知する。

(4) 支給材料、貸与品関係

- | | | |
|-----------|----|----|
| ア 支 給 材 料 | あり | なし |
| イ 貸 与 品 | あり | なし |

(5) 条件変更等の関係

工事の施行に当たり、設計図書と現場の状態とが一致しないこと等の事実を発見したときは、単に事実関係のみでなく、設計図書の訂正に必要な資料、図面等を添付した書面で通知すること。

(6) 設計変更等の関係

必要により工事内容を変更する場合は、原則としてその必要が生じた都度契約変更の手続を行うが、軽微なものは監督員の指示により工事内容の変更を行い、これに伴う契約変更の手続は、工期の末に行う。

(7) 部分引渡し関係

- | | | |
|-----------|----|----|
| 部分引渡し指定部分 | あり | なし |
|-----------|----|----|

(8) 火災保険等の関係

- | | | |
|-----------------|----|----|
| 火災保険その他の保険の付保条件 | あり | なし |
|-----------------|----|----|

8. 現場代理人の常駐義務について

請負代金額が500万円以上の工事について現場代理人は常駐とするが、横須賀市ホームページ > 入札の広場 > 工事 > 入札制度関連情報<工事> において、重複配置の特例がある場合は兼務することができる。

9. コリンスの登録について

請負者は、受注時又は変更時及びしゅん工時において請負代金額が500万円以上の工事について、工事实績情報サービス(CORINS)入力システムに基づき、監督員に登録内容の確認を受けた後に、(一財)日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。

また、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。

登録申請の期限は、次のとおりとする。

- (1) 受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内とする。
- (2) しゅん工時登録データの提出期限は、しゅん工後10日以内とする。
- (3) 施工中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更データを提出しなければならない。
- (4) 変更時としゅん工までの間が10日間に満たない場合は、監督員の承諾を得て変更時の提出を省略できるものとする。

10. 建設業退職金共済制度への加入について

- (1) 請負者は、建設業退職金共済(以下「建退共」という。)に加入するとともに、その建設業退職金共済制度の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼り付けること。
- (2) 請負者は、当初請負代金額が500万円以上の場合は、建退共の発注者用掛金収納書を貼った「建設業退職金共済証紙購入状況報告書」(第1号様式(建退共))、「建設業退職金共済関係提出書」(第2号様式(建退共))、「建設業退職金共済証紙貼付実績報告書」(第3号様式(建退共))を工事しゅん工時に監督員に提出すること。ただし、この制度に代わる退職金共済等に加入している場合又は対象労働者がいない場合については、内容を記載した「確認書」(第4号様式(建退共))を契約締結後1箇月以内に監督員に提出すること。
なお、当初請負代金額が500万円未満の場合においても本市が証紙購入状況を把握する必要があると認めるときは、関係資料を提出しなければならない。
- (3) 下請契約を締結する際は、当該下請負者に対してこの制度の趣旨を説明し、掛金相当額を下請代金中に算入するか、又は共済証紙の現物交付をすることにより、当該下請負者の建退共加入並びに証紙の購入及び貼付の促進に努めること。
- (4) 下請負者の規模が小さく、管理事務の処理面で万全でない場合、元請負者は建退共加入手続及び建退共関係事務の処理について、下請負者からの依頼には積極的に受託するよう努めること。
- (5) 請負者は、工事現場に建設業退職金共済制度適用事業主の工事現場であることを明示する標識を掲示すること。
- (6) 正当な理由がなく建退共に加入せず、又は証紙の購入若しくは貼付が不十分な請負者は工事成績評定において考慮される事となる。

11. 施工計画書の提出について

(1) 施工計画書の作成

請負者は、契約後速やかに監督員の指示に従って施工計画書を作成し提出すること。ただし、監督員が別に指示する場合を除いて、次のいずれかに該当する工事については、提出を要しない。

- ア 当初請負代金額が500万円未満の工事、又は当初工期が60日未満の工事
- イ 契約後、直ちに現場着手を要する等の緊急工事
- ウ 工事内容に基づき、監督員が提出を要しないと判断した工事

(2) 施工計画書の記載事項等

施工計画書等記載事項は、横須賀市ホームページ > 入札の広場 > 検査情報に記載（別表）のとおりとする。ただし、請負者は、施工計画書の提出を不要とした工事であっても、監督員が必要と指示する書面を速やかに提出すること。

(3) 計画工程表の作成

請負者は、計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。

(4) 実施工程との比較照査

請負者は、工事施工中において、問題が発生した場合又は計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。

12. ワンデーレスポンスの取り組みについて

- (1) 本市では、請負者からの質問、協議に対して、基本的に「その日のうち」に回答するよう、ワンデーレスポンスに取り組んでいる。

なお、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを請負者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。

- (2) 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、請負者は協力すること。

13. 中間及び抜打ち状況調査の実施について

中間状況調査又は抜打ち状況調査は、検査員が随時行う。この場合、請負者は調査に協力しなければならない。

14. 下請負者について

- (1) 下請負者を使用する場合には、市内業者を優先的に選定するように配慮すること。
- (2) 下請契約を締結する際は、当該下請負者に対して法定福利費の内訳が明示された国の標準見積書等の提出を指導するとともに、提出された場合は尊重し、適切な法定福利費を含んだ契約を締結すること。

15. 一括下請けの禁止について

請負者は、本工事の全部若しくはその主たる部分又は他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事を一括して第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。

16. 技術的事項について（別紙）

小雀系送水管電気防食工事（2019の1）特記仕様書

本工事の仕様は、当局水道工事共通仕様書（平成28年10月）に定められたもののほか、当特記仕様書によるものとする。なお、共通仕様書内の付編Ⅱ及び付編Ⅲについては、水道工事共通仕様書 付編書式（平成29年12月）を参照すること。

1 工事コストの表示について

- (1) 工事請負額1,000万円以上の工事を対象とする。
- (2) 工事請負額の表示は、工事現場に設置する「工事看板」に表示する。
- (3) 表示金額は、万円単位など分かりやすい単位とする。

~~2 公共建設発生土処分について~~

~~(1) 受入場所~~

~~処分地等の名称：UCR（久里浜港）~~

~~場 所：横須賀市久里浜8丁目2567番62~~

~~(2) 受入日時~~

~~受入日：月曜日から金曜日の平日~~

~~（土曜日・日曜日・祝祭日・旧盆・年末年始は、休業です。）~~

~~受入時間：8：00～17：00~~

~~※悪天候、突発的事故により受入れが停止または、制限される場合がある。~~

~~(3) 受入単価~~

~~名 称：土砂受入処分料（指定処分）~~

~~規格1：普通土砂（久里浜 UCR 処分場）~~

~~規格2：処分費の対象~~

~~単 価：地山1m³あたり3,970円~~

~~(4) 久里浜 UCR 受入地に指定された地質分析等試験~~

~~地質分析等試験は、試料採取から分析、結果証明までを同一の分析会社が行うこと。~~

~~3 土砂検定費等について~~

~~土砂検定費（1～28項目＝括実施）、土砂検定費（ヒ素＋銅）及び六価クロム溶出試験の単価には、諸経費、技術料及び報告書作成の一切の費用を含むため、その他の間接費の対象とならない。~~

4 共通仮設費の対象外となる桁等購入費について

桁等購入費 ~~あり~~ なし

5 数値基準、単価世代及び積算参考資料について

数値基準、単価世代及び積算参考資料については、上下水道局ホームページ→事業者の皆さまへ→請負工事に関する各種書類のダウンロード→上水道→水道工事積算単価関係内の「【重要】水道工事の数値基準等について」を参照すること。

6 共通単価について

共通単価については、上下水道局ホームページ→事業者の皆さまへ→請負工事に関する各種書類のダウンロード→上水道→水道工事積算単価関係内の「共通単価一覧表」（設計書摘要欄に記載のあるコード番号が A、B、K、L、N、P、R から始まるもの）を参照すること。

7 施工パッケージ型積算について

- (1) ダンプトラックの東京単価は、タイヤ損耗費及び補修費を含んだ金額が設定されているため、積算単価も建設機械等損料表の損料金額にタイヤ損耗費及び補修費を加算した金額で計上している。
- (2) 単価表摘要欄に「積算単価計上なし」と記載されている場合は積算単価を0円としている。
- (3) 表層工などの一位代価表の<条件区分>の[材料]、[〇〇規格]に記載している材料は、東京単価を算出するための代表材料を記載している。
※材料の積算単価は、一位代価表の規格欄・摘要欄に記載した材料である。
- (4) 施工パッケージ型積算方式による一位代価表の積算注意事項は、局ホームページの「施工パッケージ型積算方式による積算」を参照すること。

8 個人情報資料の借用について

工事に必要な個人情報に関する資料の借用にあたっては、以下の内容を明記した借用願（様式あり）を担当課長あてに提出すること。

- (1) 借用期間
- (2) 借用する個人情報資料の項目
- (3) 個人情報の管理に関する責任者、個人情報を取り扱う工事従事者
- (4) 貸出条件(取り扱いにあたる注意事項等)
- (5) その他監督員が必要とする事項

9 工事に関することについて

~~(1) 身分証明書の提示~~

~~請負者は顔写真、氏名、有効期限等を記載した身分証明書を発行し、給水管接続替調整工等の業務に従事する者に身分証明書を常時携帯させなければならない。
上記業務に従事する者は、水道使用者等の住居その他を訪問する場合はこれを提示すること。また、監督員から請求があったときもこれを提示すること。~~

~~(2) 給水管接続替調整工の作業内容~~

~~ア 給水台帳の確認~~

~~イ 現場調査(メータ位置の確認、メータ内給水管材質の確認、宅内路面状況の確認)~~

~~ウ 居住者及び土地所有者への工事説明及び掘削等の確認~~

~~エ 上記ア、イ、ウの実施(宅地内鉛給水管取替工事)内容の整理及び監督員への報告確認
作業~~

~~オ 宅地内工事が別の請負者の場合は同業者への説明~~

~~カ 宅地内工事等に関する給水管接続替図及び土地使用承諾図の作成~~

(3) 試掘調査及び既設埋設物の近隣掘削について

舗装取りこわし工等を除き試掘調査及び既設埋設物の近隣掘削については、安全施工の観点から人力施工とする。ただし、状況により機械施工を行う場合は監督員と事前協議すること。

(4) 鍵の借用について

小雀系送水管が布設されている隧道は、常時施錠されている施設のため鍵の借用等については監督員と協議すること。

~~10 舗装版切断時に発生する濁水の処理について~~

~~(1) 処理方法~~

~~舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。~~

~~(2) 条件~~

~~請負者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。~~

~~また、請負者が、自ら運搬を行う場合を除き、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。~~

~~(3) 提出書類等~~

~~請負者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に関する計画書、請負者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。~~

~~また、請負者が濁水の収集運搬を委託した場合は、請負者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。~~

~~なお、請負者は、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない。~~

~~11 G X形ダクタイル鋳鉄管布設工事における有資格者条件について~~

~~G X管の接合は、「水道工事共通仕様書ダクタイル管の接合有資格者」の資格要件に加え、指導員又は指導員の指導を受けた者が行うこと。なお、指導員の氏名及び経歴等については、あらかじめ監督員の承諾を得ること。~~

~~(1) 指導員~~

~~指導員は、以下、ア～エのうち、いずれかを満たす者とする。~~

~~ア 局が平成25年11月に実施したG X形ダクタイル鋳鉄管施工講習会の受講者~~

~~イ 平成26年度以降の日本水道協会による配水管工技能講習会受講者~~

~~ウ 平成24年度以降の日本ダクタイル鉄管協会による継手接合研修会受講者~~

~~エ G X管製造会社の技術職員~~

~~(2) 指導員による指導~~

~~G X管の構造及び施工に精通した技術者による技術指導（社内講習会等）を、施工前及び施工中において、各1回以上実施し、配管技術者の技術の習得と管理に努めること。また技術指導の状況写真（過去の指導実績でも良い）を実施毎に各1枚撮影し、しゅん工時に提出すること。~~

~~技術指導する技術者名（身分証の写し等）、技術指導の内容（メニュー、実施時期等）については施工計画書に記載し、事前に監督員の承諾を得ること。~~

~~※参考（技術指導の例）~~

~~G X管の特性・構造、G X管接合・挿入量測定、切り管加工、チェックシートの記入等の技術指導をいう。~~

~~12 別途発注される測量業務について~~

~~(1) 請負者は、本工事施工前に測量業務受託者と契約後速やかに打合せを行い、請負者が責任をもって測量の工程が記入された実施工程表を作成すること。~~

~~(2) 請負者は、工事に伴い境界標等の移設（撤去）が生じた場合は、引照杭を設け、測量業務受託者の確認を受けること。~~

~~(3) 測量業務受託者の行う境界標等の移設(撤去)及び復元に際しては、原則として本工場の現場代理人が立ち会って確認すること。~~

13 建設副産物実態調査の作業手順(元請業者が行う)について

別途添付の「建設副産物実態調査に係る特記仕様書」を参照すること。

14 基準書等の適用および設計諸条件に係る事項について

(1) 「電気防食設備設置工事(電気)」を積算している基準書および設計諸条件

ア 設計構成、諸経費率、歩掛等は2016年版の「下水道用設計積算要領—ポンプ場、処理場施設(機械・電気設備)編一」(発行元:公益社団法人日本下水道協会)によるが、これによりがたい場合は、別途積算基準を用いる。

イ 別途積算基準を用いた場合は、設置歩掛のみを採用し、諸経費率、補正率、撤去歩掛は「下水道用設計積算要領—ポンプ場、処理場施設(機械・電気設備)編一」による。

ウ 共通仮設費の中で率により算出した費用及び現場管理費の合計額は千円止めとし、それ以外は、円止めとする。

エ 設計書摘要欄に横須賀市上下水道局一位代価表(施工単価表)・共通単価等の記載があった場合は、上下水道局ホームページ内、「請負工事に関する情報」→「上水道」→「水道工事積算単価関係」を参照されたい。

オ 本設計書における単価世代は、2020年1月1日世代とする。

カ 本資料に記載する数量は参考であるため、入札者は独自に積算し入札すること。

キ 前払金支出割合は、40%とする。

ク 契約保証に係る一般管理費等の補正率は、0.04%とし金銭的保証とする。

(2) 「電気防食設備設置工事(土木)」を積算している基準書等基準書および設計諸条件

ア 水道事業実務必携 令和1年度版

イ 土木工事標準積算基準書(土木工事編) 令和元年7月1日版

ウ 土木工事標準積算基準書(電気・機械編) 令和元年7月1日版

エ 積算参考資料(土木工事編) 令和元年7月1日版

オ 建設機械等損料表 令和元年度版

カ 下水道用設計標準歩掛表

第1巻 管路 令和元年度版

~~第2巻 ポンプ場・処理場 令和元年度版~~

~~第3巻 設計委託 令和元年度版~~

キ 本設計書における単価世代は、2020年1月1日世代とする。

ク 諸経費の工種は、開削工事及び小口径推進工事とする。

ケ 施工地域の補正は、「なし」とする。

コ 前払金支出割合は、40%とする。

サ 契約保証に係る一般管理費等の補正率は、0.04%とし金銭的保証とする。

シ 処分費控除は、なしとする。

15 市場単価及び標準単価の端数処理について

市場単価及び標準単価方式による単価表の加算・補正後の金額は、円止めとする。

なお、単価補正が行われた場合の単価についても円止め(小数点以下切り捨て)として計算し、数量×単価=金額を算出している。

16 しゅん工検査時に必要な書類について

しゅん工検査時は「管路工事しゅん工図書等提出物一覧表で指定している図書」及び、

「工事履行報告書」を作成し、提出すること。なお、「工事履行報告書」は請負金額 500 万円以上の場合のみ提出すること。

1) 管路工事しゅん工図書等提出物一覧表

横須賀上下水道局 水道工事共通仕様書 平成 28 年 10 月の別冊

2) 工事履行報告書

横須賀市ホームページ>市政情報>入札・契約・検査>検査情報>土木工事関係書類一覧表

17 受電部分について

直流電源装置の電源は、引込分電盤の中の单相 200V 2P30AT 漏電遮断器を单相 200V 2P40AT の漏電遮断器に交換し、その下の端子台より既設分と共ばさみで電源取りを行う。

18 直流電源装置について

今回設置する直流電源装置の入力電源は、单相 200V とする。

19 提出書類

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| (1) 完成図書 | ・・・ A 4 版 (金文字黒表紙製本) 2 部 |
| | ・・・ A 4 版 (ファイル) 1 部 |
| (2) 写真帳 | ・・・ A 4 版 (ファイル) 2 部 |
| (3) 東京電蝕防止対策委員会用報告書 | ・・・ A 4 版 (ファイル) 1 部 |
| (4) 上記の電子データ | ・・・ (記憶媒体 CD-R) 1 部 |

20 その他

上記の内容について疑義が生じた場合は、別途監督員と協議するものとする。

建設副産物実態調査に係る特記仕様書

- 1 元請業者は、建設資材利用量の大小や有無及び建設副産物発生量・搬出量の大小や有無にかかわらず、当該年度に終了した最終請負額が100万円以上の工事は、次項の建設副産物実態調査作業手順にもとづき調査データを提出するものとする。ただし、複数年度にまたがる債務工事等の工事額は、当該年度の年割り額を記入し、工事内容は当該年度分の資材利用量、建設副産物発生量・搬出量のみを記入する。なお、この手順により作成されたデータおよび帳票は、「資源有効利用促進法」で定められた「再生資源利用 {促進} 計画書 (実施書) の作成」を兼ねるものとする。

本調査の対象品目は、表1の通りである。

表1 調査対象品目

対象	調査対象品目	備 考
搬入する 建設資材	コンクリート	
	コンクリート及び鉄から成る建設資材	
	木材	
	アスファルト混合物	
	土砂	
	砕石	
	塩化ビニル管・継手	
	石膏ボード	
	その他の建設資材	
搬出する 建設副産物	コンクリート塊	
	建設発生木材A (柱、ボードなどの木製資材が廃棄物となったもの)	建設発生木材等のうち、解体木くず、新築端材木くず等が該当する。
	アスファルト・コンクリート塊	
	その他がれき類	
	建設発生木材B (立木、除根材などが廃棄物となったもの)	建設発生木材等のうち、建設工事 (工作物の新築、改築又は除去に係るものに限る。) に伴って副次的に得られる伐木材、伐根材が該当する。
	建設汚泥	
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	現場へ搬出する状態で判断し、発生と搬出の間に分別された場合には、分別後の品目が発生したものとみなす。
	金属くず	
	廃塩化ビニル管・継手	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	
	廃石膏ボード	
	紙くず	
	アスベスト (飛散性)	
その他の分別された廃棄物		
第一種～第四種建設発生土及び浚渫土 (建設汚泥を除く)		

2 建設副産物実態調査の作業手順は、次のとおりとし、元請業者が行うものとする。

- (1) 一般財団法人日本建設情報総合センターのホームページ<http://www.recycle.jacic.or.jp/>から建設副産物情報交換システムにログインする。
システムの操作方法については、「各種マニュアル」ページ内の「建設副産物情報交換システム」の操作マニュアル「排出事業者用」を参照する。
- (2) 当初契約時点でのデータを入力する。（「再生資源利用(促進)計画書—建設リサイクルガイドライン様式—」の作成）
- (3) 工事検索画面から当該工事を検索し、「登録証明書の印刷」により「建設副産物情報交換システム工事登録証明書(計画)」を印刷し、監督員に提出する。
- (4) 工事完成時に実施書（最終データに修正）に書き換える。
- (5) 各種書類の印刷により、「チェックリスト」を出力し、必須エラーが発生していないことを確認する。
- (6) 工事検索画面から当該工事を検索し、「登録証明書の印刷」により「建設副産物情報交換システム工事登録証明書(実施)」を印刷し、監督員に提出する。
- (7) 建設副産物情報交換システムに工事情報を登録した場合は、再生資源利用(促進)計画書、再生資源利用(促進)実施書および建設リサイクル法に基づく再資源化報告書は監督員に提出されたものとみなす。

3 データ入力上の留意点

(1) 建設発生土の入力値について

建設発生土については、埋戻しなどのように、現場内利用がある場合には、建設副産物発生・搬出（一種発生土～浚渫土）には、「地山m³」で入力し、建設資材利用（土砂）には、「締めm³」（表2、土量の変化率Cを考慮）で入力する。

表2 土量の変化率C

レキ質土		砂質土及び砂		粘性土		岩塊 玉石
レキ	レキ質土	砂	砂質土 (普通土)	粘性土	高含水比 粘性土	
0.95	0.90	0.95	0.90	0.90	0.90	1.00

軟岩 I	軟岩 II	中硬岩	硬岩 I
1.15	1.20	1.25	1.40

(例)

- 掘削 100 m³
 埋戻し 20 m³ (締めm³)・・・「土砂 建設資材 利用量(A)」欄に入力する。
 22 m³ (地山m³)・・・「一種発生土～浚渫土 ②利用量」欄に入力する。
 20 m³ / 変化率C (仮に0.9とする) = 22 m³
 処分 78 m³ (地山m³)・・・「一種発生土～浚渫土 ④現場外搬出量」欄に入力する。

$$100 \text{ m}^3 - 22 \text{ m}^3 = 78 \text{ m}^3$$

(2) 建設資材利用について

- ア 建設リサイクル資材を利用する場合は、建設資材利用の欄に以下の方法により入力する。
 ・表3にまとめる調査対象品目の分類ごとに建設リサイクル資材をそれぞれ入力する。建設リサイクル資材の品目名については、神奈川県建設リサイクル資材認定資材一覧表（以下、認定一覧表という）を参照する。

表3 調査対象品目と建設リサイクル資材品目名

調査対象品目(建設資材の「分類」)	建設リサイクル資材の品目名
アスファルト混合物	再生加熱アスファルト混合物
砕石	再生骨材等
コンクリート	再生コンクリート二次製品(無筋)※
	再生舗装用ブロック (平板、インターロッキングブロック、レンガブロック等)
コンクリート及び鉄から成る建設資材	再生コンクリート二次製品(有筋)※
木材	再生木質ボード
塩化ビニル管・継手	排水・通気用再生硬質塩化ビニル管

※再生コンクリート二次製品に該当する建設リサイクル資材が無筋コンクリートの場合、調査対象品目のうち「コンクリート」に、再生コンクリート二次製品に該当する建設リサイクル資材が有筋コンクリートの場合、調査対象品目のうち「コンクリート及び鉄から成る建設資材」に入力する。

- ・「規格」は認定一覧表の「寸法・規格等」を入力する。
- ・「再生資材の供給元施設、工事等の名称」については認定一覧表の「製造工場」を入力し、「再生資材の供給元場所住所」については、認定一覧表の製造工場の住所を入力する。
- ・「再生資材利用量」は、利用量と同じ値を入力する。

イ 新材を利用する場合は、調査対象品目の中で箇所を変えて入力する。また、その際の「再生資材利用量」には0を入力する。

ウ RC-10（再生砂）を利用する場合は、「土砂」の「再生コンクリート砂」欄に入力する。

(3) 建設副産物発生・搬出（コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材 A・B、建設汚泥、建設発生土（第一種～第四種建設発生土及び浚渫土））について

ア コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊を神奈川県コンクリート塊等処理指定工場に搬出する場合は、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。

イ 建設発生木材等のうち解体木くず、新築端材木くずを神奈川県建設発生木材等再資源化指定事業者の指定施設に搬出する場合は、「建設発生木材A（柱、ボードなどの木製資材が廃棄物になったもの）」欄に入力することとし、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。

ウ 建設発生木材等のうち伐木材、除根材を神奈川県建設発生木材等再資源化指定事業者の指定施設に搬出する場合は、「建設発生木材B（立木、除根材などが廃棄物となったもの）」欄に入力することとし、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。

エ 建設汚泥を一部であっても改良土等に処理している施設などに搬出する場合は、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。

オ 再利用が決まっている建設発生土を仮置き場に搬出する際は、「搬出先の種類のコード」を「5 工事予定地・仮置場・ストックヤード(再利用の目的がある場合)」と選択する。

施工条件明示事項

工事名 小雀系送水管電気防食工事(2019の1)

1. 当該工事の施工条件明示事項欄の、下記表□内黒塗り部分が作業に当って、特に制約を受けることになるので明示する。
又、明示されていない事項で請負者が、施工条件に該当すると思われる場合には、その都度監督員と協議すること。
2. 明示事項内容及び参考欄の内、参考と記載している箇所は見積り参考数値で、作業制約条件ではない。

明示項目	明 示 事 項	明示事項内容及び参考											
□ 工程関係	<input type="checkbox"/> 他の工事の開始又は完了の時期による影響												
	<input type="checkbox"/> 施工時期、施工時間及び施工方法の制限 (準備工期の設定等)												
	<input type="checkbox"/> 関係機関等との協議の未成立												
	<input checked="" type="checkbox"/> 関係機関等との協議条件による影響	1) 交通管理者協議により、作業時間の制約があった場合は厳守すること。											
	<input type="checkbox"/> 地下埋設物、埋蔵文化財等の事前調査及び移設期間												
	<input type="checkbox"/> 設計上、見込んでいる休日日数等以外の作業不能日数												
□ 用地関係	<input type="checkbox"/> 工事用地等の未処理部分												
	<input type="checkbox"/> 工事用仮設道路・資機材置き場の民有地等の借地												
	<input type="checkbox"/> 発注者が借り上げた土地の使用												
	<input type="checkbox"/> 工事用地等の使用終了後における復旧内容												
■ 周辺環境関係 (公害・排水等)	<input checked="" type="checkbox"/> 工事に伴う公害防止(騒音、振動、粉塵、排出ガス等)対策	1) 設計図書に示すとおり、排ガス対策型機械等を使用すること。											
	<input checked="" type="checkbox"/> 水替え・流入防止施設	1) 参考【見積り参考として、ポンプ運転工は延べ 132 日を見込んでいる。】											
	<input type="checkbox"/> 濁水、湧水等の処理対策												
	<input type="checkbox"/> 事業損失防止関係												
■ 安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 交通安全施設等の指定	1) 現場調査を実施し、安全施設計画図を監督員に提出すること。 2) 関係機関との協議により安全施設計画図に変更が生じた場合、監督員と別途協議する。											
	<input type="checkbox"/> 近接工事での施工方法、作業時間等の制限												
	<input type="checkbox"/> 落石、土砂崩落等に対する防護施設												
	<input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員、警戒船等の保安設備、保安要員の配置	1) 交通誘導警備員 地元又は道路管理者等との調整により、配置体制に変更が生じた場合には、監督員と協議する。 ① 主な工種の配置体制 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="2">配置人員(人/日)</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電極設置工</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>直流電源装置設置工</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> A: 交通誘導警備員A B: 交通誘導警備員B ② 交通誘導警備員の資格 交通誘導警備員全て警備業法による警備員とすること。 2) 参考【見積り参考として、交通誘導警備員は延べ 76人を見込んでいる。】	工 種	配置人員(人/日)		A	B	電極設置工	—	1	直流電源装置設置工	—	1
	工 種	配置人員(人/日)											
A		B											
電極設置工	—	1											
直流電源装置設置工	—	1											
<input checked="" type="checkbox"/> 有毒ガス及び酸素欠乏等の換気設備等対策	1) 隧道内では発電機の使用は行わないこと。 2) 隧道内での作業開始前、及び作業に従事する全ての労働者が作業を行う場所を離れた後、再び作業を開始する前に酸素濃度の測定を行うこと。また、測定結果に基づき対策を行う必要があると認められた場合は、強制換気等の酸素欠乏対策を行うこと。												

明示項目	明示事項	明示事項内容及び参考
□ 工事関係	<input type="checkbox"/> 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等の制限	
	<input type="checkbox"/> 搬入路の使用後及び使用後の処置	
	<input type="checkbox"/> 仮設道路の設置	
	<input type="checkbox"/> 一般道路の占用	
□ 仮設備関係	<input type="checkbox"/> 仮設物(仮土留、足場等)の他工事への転用若しくは兼用	
	<input type="checkbox"/> 仮設備の構造及び施工方法の指定	
	<input type="checkbox"/> 仮設備の設計条件の指定	
■ 建設副産物関係	<input type="checkbox"/> 残土の受け入れ及び仮置き場所までの距離、時間等の処分条件	
	<input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物の現場内での再利用及び減量化	1) 発生土 現場で発生した土砂については、現場内で再利用するものとする。 2) その他についても設計図書に基づき、再生資材を使用する。 なお、使用に際し品質が適正なものであるか確認するものとする。
	<input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物及び建設廃棄物の処理	1) 設計図書のとおりとし、受入条件については受入先条件による。
□ 薬液関係	<input type="checkbox"/> 薬液注入工法の施工	
	<input type="checkbox"/> 周辺環境への調査	
□ 工事物支障等	<input type="checkbox"/> 占用物件の有無及び占用物件等による工事支障物の存在	
	<input type="checkbox"/> 地上、地下等の占用物件工事との重複施工	
■ その他	<input type="checkbox"/> 工事用資機材の保管及び仮置き	
	<input checked="" type="checkbox"/> 工事現場発生品	1) 設計図書に基づき、適切な処分を行うこと。
	<input type="checkbox"/> 支給材料及び貸与品	
	<input type="checkbox"/> 関係機関・自治体等との近接工事協議に係る条件等	
	<input type="checkbox"/> 架設工法の指定	
	<input type="checkbox"/> 工事用水、電力等の指定	
	<input type="checkbox"/> 新技術・新工法・特許工法の指定	
	<input type="checkbox"/> 部分使用	
	<input type="checkbox"/> 給水の必要	
	<input type="checkbox"/> 電子納品対象工事特記仕様書	
	<input type="checkbox"/> その他	

小雀系送水管電気防食工事（2019の1）
工 事 設 計 書

横 須 賀 市 上 下 水 道 局

総括表

2019年度	工事番号	
工事名	小雀系送水管電気防食工事（2019の1）	
ブロック番号	8200	工事場所 横浜市金沢区六浦町2170番地先
予算科目		
工 事 概 要	<p>本工事は、小雀系送水管路に対し外面腐食対策として外部電源方式による電気防食設備を設置するもので、工事概要は下記のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p style="text-align: center;">電気防食設備設置工事 1式</p> <hr/> <p>工期 自令和 年 月 日 至令和 年 月 日</p>	
工事施行方法	請 負	工事日数 250日

横 須 賀 市 上 下 水 道 局

本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
電気防食設備設置工事 (電気)				式	1			/A
請負工事費								/B
	機器費							/I
		機器費		式	1			第 1 号内訳書参照 @U001
	機器費 計							++I
直接工事費								/B
	工事費							/B
		輸送費		式	1			第 2 号内訳書参照 @U002
		材料費		式	1			第 3 号内訳書参照 @U003
		一般労務費	電工	式	1			第 4 号内訳書参照 @U004
		一般労務費	電気通信技術者	式	1			第 5 号内訳書参照 @U005

P-1

付 属 1

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		複合工費		式	1			第 6 号内訳書参照 @U006
		直接経費 (機械器具損料)		式	1			%13Y1
		仮設費		式	1			%13Y8
	工事費 計							+3
直接工事費 計								++P
間接工事費								/H
		共通仮設費						(しゅん工CAD図面含む) /H
		共通仮設費		式	1			!28Kr
		共通仮設費 計						+3K
純工事費								++J
		現場管理費		式	1			!28Jo

P-2

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		現場管理費 計						+3
		据付間接費						/H
		据付 (技術者) 間接費		式	1			!28Z1
		据付 (機器) 間接費		式	1			!28Z2
		据付間接費 計						+3
		据付工事原価						++E
		設計技術費						/H
		設計技術費		式	1			!28Gk
		設計技術費 計						+3
		工事原価						++G
		一般管理費等						/H

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		一般管理費等		式	1			!28Gp
電気防食設備設置工事 (電気) 工事 価格								++T

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
電気防食設備設置工事 (土木)				式	1			/A
請負工事費								/H
直接工事費								/H
工事費								/H
		電極設置工	照合電極設置含む	式	1			第 7 号内訳書参照 @U101
		直流電源装置設置工		式	1			第 8 号内訳書参照 @U102
		交通管理工		式	1			第 9 号内訳書参照 @U103
		工事費 計						+3
		直接工事費 計						++P
		間接工事費						/H
		共通仮設費						(しゅん工CAD図面含む) /H

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		共通仮設費		式	1			%07Kr
		共通仮設費 計						+3K
		純工事費						++J
		現場管理費		式	1			%07Jo
		工事原価						++G
		一般管理費等						/H
		一般管理費等		式	1			%07Gp
		一般管理費等 計						+3
		電気防食設備設置工事 (土木) 工事 価格						++T
		工事価格 合計						++A
		消費税等相当額		式	1			%S10

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
請負工事費	合計							

++U

第 1 号内訳書 機器費

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
直流電源装置	60V-20A 2回路(SUS製) 単相200V	面	1			局独自 Y0001
計						

P-8

第 2 号内訳書 輸送費

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
輸送費		式	1			局独自 Y0016
計						

P-9

第 3 号 内訳書 材料費

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
低圧ケーブル		式	1			第 1 号一位代価表参照 Z0005-B00
その他電線		式	1			第 2 号一位代価表参照 Z0006-B00
ケーブル, 電線類付属材料		式	1			#00
電線管類	波付硬質ポリエチレン管	式	1			第 3 号一位代価表参照 Z0007-B00
樹脂製プルボックス (防水被せタイプ)	250mm×250mm×200mm	個	9			局独自 Y0013
接地器具		式	1			第 4 号一位代価表参照 Z0009-B00
漏電遮断器	2P40AT	個	1			局独自 Y0017
補助材料費		式	1			#00
計						

P-10

第 4 号 内訳書 一般労務費

電工

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
電工		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0090
計						

P-11

第 5 号内訳書 一般労務費

電気通信技術者

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
電気通信技術者		人				県単価・2019/04/01・労務2 CR0480
計						

P-12

第 6 号内訳書 複合工費

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
通電電極設置工		式	1			第 5 号一位代価表参照 Z0001-B00
照合電極設置工	マグネシウム陽極 5S型	式	1			第 6 号一位代価表参照 Z0002-B00
ターミナル設置工	塗覆装 撤去・復旧含む	式	1			第 7 号一位代価表参照 Z0003-B00
計						

P-13

第 7 号 内訳書 電極設置工

照合電極設置含む

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
隧道内						/H
床掘り工	土砂 現場制約有	m3	81.2			第 8 号一位代価表参照 DP020012-J01
埋戻し工	現場制約有 土砂 締固め無	m3	81.2			発生土 第 9 号一位代価表参照 DP020016-J02
小車運搬工(積込～運搬～取卸し)土・石	土砂 40m以下	m3	25			4号隧道出口まで 第 10 号一位代価表参照 DP020022-J01
人肩運搬工(積込～運搬～取卸し)土・石	土砂 200m以下	m3	25			4号隧道内 第 11 号一位代価表参照 DP020018-J01
人力埋戻工 RC-40	締固め無し	m3	21.7			4号隧道内 第 12 号一位代価表参照 Z0101-B00
埋戻し工	現場制約有 土砂 締固め無	m3	3.3			場内処分 第 9 号一位代価表参照 DP020016-J02
小車運搬工(積込～運搬～取卸し)土・石	土砂 40m以下	m3	27.9			2号隧道入口まで 第 10 号一位代価表参照 DP020022-J01
人肩運搬工(積込～運搬～取卸し)土・石	土砂 140m以下	m3	27.9			2号隧道内 第 13 号一位代価表参照 DP020018-J02
人力埋戻工 RC-40	締固め無し	m3	27.9			2号隧道内 第 12 号一位代価表参照 Z0101-B00
ポンプ運転工	作業時排水 発動発電機	日				第 14 号一位代価表参照 D6260-J01

P-14

第 7 号 付属 1

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
据付・撤去工(開削水替工)		現場	2			2号隧道, 4号隧道 第 15 号一位代価表参照 D6265-J01
一般部						/H
小型バックホウ掘削積込	山積0.08m3(平積0.06m3)	m3	29.7			一部場内処分 第 16 号一位代価表参照 DW399-J01
管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)	山積0.08m3(平積0.06m3)	m3	29			発生土 第 17 号一位代価表参照 DW411-J01
明示シート(鉄管類)	幅40cm 上下水道局に連絡して下さい印字	m	66			局独自 A1518
ハンドホール設置						/H
基礎砕石工	厚17.5cm超20.0cm以下 RC-40 横浜単価	m2	2			ハンドホール基礎 第 18 号一位代価表参照 DP020033-J01*
プレキャストマンホールの据付工	質量2000kg/基以下 基礎砕石無又は円形断面以外	基	1			第 19 号一位代価表参照 DP020071-J01*
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)工	削孔径64～77mm未満 削孔深50～200mm未満	孔	3			第 20 号一位代価表参照 DP020138-J01
計						

P-15

第 8 号内訳書 直流電源装置設置工

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
小型バックホウ掘削積込	山積0.08m3(平積0.06m3)	m3	2.6			場内処分 第 16 号一位代価表参照 DW399-J01
基礎砕石工	厚17.5cm超20.0cm以下 RC-40 横浜単価	m2	7			第 18 号一位代価表参照 DP020033-J01*
コンクリート工(18-8-25(20) W/C指定無し)	無筋・鉄筋構造物 一般養生 小型車	m3	1.6			ハンドホールCoたたき含む 第 21 号一位代価表参照 DP020102-J01*
一般型枠工	鉄筋・無筋構造物	m2	5			ハンドホール型枠含む 第 22 号一位代価表参照 DP020104-J01
鉄筋金網 (SD295)	D6×150×150	m2	6			県単価・2020/01/01・9 K0037
ネットフェンス設置工(溶融亜鉛めっき)	両開き門扉, 材料費含む H=2000 金網φ3.2	式	1			局独自 Y0104
ネットフェンス処理料	処分費の対象	式	1			局独自 Y0105
計						

P-16

第 9 号内訳書 交通管理工

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B		人日				県単価・2020/01/01・労務2 R0011-001
計						

P-17

第 1 号 一位代価表 低圧ケーブル

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
600V EM-CE 38mm2(3芯)		m	76.6			局独自 Y0002
600V EM-CE 38mm2(2芯)		m	364			局独自 Y0003
600V EM-CE 38mm2(1芯)		m	471			局独自 Y0004
600V EM-CE 5.5mm2(3芯)		m	76.6			局独自 Y0005
600V EM-CE 5.5mm2(2芯)		m	108			局独自 Y0006
600V EM-CE 5.5mm2(1芯)		m	745			局独自 Y0007
PVDF 35mm2(1芯)		m	75.8			局独自 Y0008
計	1式 当り					

第 2 号 一位代価表 その他電線

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
600V EM-IE 5.5mm2		m	5.5			局独自 Y0009
計	1式 当り					

第 3 号 一位代価表 電線管類

波付硬質ポリエチレン管

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
波付硬質ポリエチレン管	30mm	m	10.6			局独自 Y0021
波付硬質ポリエチレン管	50mm	m	899			局独自 Y0022
波付硬質ポリエチレン管	65mm	m	76.6			局独自 Y0023
ベルマウス	FEP用φ30	個	1			局独自 Y0010
ベルマウス	FEP用φ65	個	2			局独自 Y0011
クランプ	FEP用φ50	組	26			局独自 Y0012
計	1 式 当り					

P-20

第 4 号 一位代価表 接地器具

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
連結式接地棒	φ14mm×1500	本	2			局独自 Y0014
接地棒用リード端子	φ14mm用	個	1			局独自 Y0015
計	1 式 当り					

P-21

第 5 号 一位代価表 通電電極設置工

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
通電電極	MMO-WIRE 80m	本	4			局独自 Y0024
通電電極	MMO-WIRE 20m	本	1			局独自 Y0025
通電電極	MMO-WIRE 1.5m	本	1			局独自 Y0026
通電電極設置工		m	342			局独自 Y0018
計	1式 当り					

第 6 号 一位代価表 照合電極設置工

マグネシウム陽極 5S型

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
照合電極	5S型	本	2			局独自 Y0027
照合電極設置工		箇所	2			局独自 Y0019
計	1式 当り					

第 7 号 一位代価表 ターミナル設置工

塗覆装 撤去・復旧含む

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ターミナル	PL-III型	本	1			局独自 Y0028
ボンドターミナル		個	2			局独自 Y0029
ターミナル設置工		箇所	3			局独自 Y0020
計	1式 当り					

P-24

第 8 号 一位代価表 床掘り工

土砂 現場制約有

 ※施工パッケージ単価
 (II-1-③-5) DP020012-J01
 1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	100			/H
普通作業員		%	100			県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
	1m3 当り					

DP020012

<条件区分>

[土質]=土砂, [施工方法]=現場制約あり

P-25

第 9 号 一位代価表 埋戻し工

現場制約有 土砂 締固め無

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	R 100			/H
普通作業員		%	R1 100			県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
	1m3 当り					

DP020016
 <条件区分>
 [施工方法]=現場制約あり, [土質]=土砂, [締固めの有無]=無し

第 10 号 一位代価表 小車運搬工(積込～運搬～取卸し)土・石

土砂 40m以下

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	R 100			/H
普通作業員		%	R1 100			県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
	1m3 当り					

DP020022
 <条件区分>
 [土質]=土砂, [換算距離]=40m以下

第 11 号 一位代価表 人肩運搬工(積込～運搬～取卸し)土・石 土砂 200m以下

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	100			/H
普通作業員		%	100			県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
	1 m3 当り					

DP020018
 <条件区分>
 [土質]=土砂, [換算距離]=200m以下

第 12 号 一位代価表 人力埋戻工 RC-40 締固め無し 1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し工	現場制約有 土砂 締固め無	m3	1			第 9 号一位代価表参照 DP020016-J02
再生クラッシャーラン	RC-40 横浜単価	m3	1.25			局独自 Y0101
諸雑費端数計上		式	1			#99
計	1 m3 当り					

第 13 号 一位代価表 人肩運搬工(積込～運搬～取卸し)土・石 土砂 140m以下

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	R 100			/H
普通作業員		%	RI 100			県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
	1m3 当り					

DP020018
 <条件区分>
 [土質]=土砂, [換算距離]=140m以下

第 14 号 一位代価表 ポンプ運転工 作業時排水 発動発電機 (A-1-66) D6260-J01
 1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
工事用水中モータポンプ(潜水ポンプ)	普通型 口径50mm全揚程5m	日				13-21-017-050-005 H47760S
発動発電機	ガソリンエンジン駆動 定格容量3kVA	日				15-10-017-003-001 H51840S
諸雑費		式	1			#99
計	1日 当り					

D6260
 [排水]=作業時排水, [公害対策機種]=基準書指定, [低騒音機種]=基準書指定, [商用電源]=なし

第 15 号 一位代価表 据付・撤去工(開削水替工)

1 現場 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
諸雑費		式	1			#99
計	1 現場 当り					

D6265

[公害対策機種]=基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

第 16 号 一位代価表 小型バックホウ掘削積込

山積0.08m3(平積0.06m3)

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
普通作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
小型バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.08/平積0.06m3 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				第 23 号一位代価表参照 J1154-J01
諸雑費		式	1			#99
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

DW399

[バックホウの規格]=山積0.08m3(平積0.06m3), [公害対策機種]=基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

第 17 号 一位代価表 管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)

山積0.08m3(平積0.06m3)

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				現場での指揮・指導 県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
普通作業員		人				機械投入に伴う補助労務 県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
普通作業員		人				締固め補助 県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
小型バックホウ(クロー型)運転	標準型 山積0.08/平積0.06m3 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				第 23 号一位代価表参照 J1154-J01
タンバ運転	質量60~80kg	日				第 24 号一位代価表参照 J3952-J01
諸雑費		式	1			#99
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

DW411

[バックホウの規格]=山積0.08m3(平積0.06m3), [埋戻材料費(m3)]=計上しない, [公害対策機種]=基準書指定, [低騒音機種]=基準書指定

P-34

第 18 号 一位代価表 基礎砕石工

厚17.5cm超20.0cm以下
RC-40 横浜単価※施工パッケージ単価
(Ⅱ-2-②-3) DP020033-J01*
1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	K 4.14			/H
バックホウ(クロー型)賃料	標準型 山積0.8/平積0.6m3 排出ガス対策型(第2次基準値)	%	K1 4.12			県単価・2020/01/01・120 H1706R
労務構成比		%	R 66.93			/H
普通作業員		%	R1 34.84			県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
特殊作業員		%	R2 15.16			県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
土木一般世話役		%	R3 8.62			県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
運転手(特殊)		%	R4 7.85			県単価・2019/04/01・労務1 CR0140
材料構成比		%	Z 28.93			/H
再生クラッシャーラン	RC-40 横浜単価	%	Z1 26.51			局独自 Y0101
軽油	1. 2号 パトロール給油	%	Z2 2.41			県単価・2020/01/01・104 CT6912

P-35

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
	1 m2 当り					

DP020033
 <条件区分>
 [碎石の厚さ]=17.5cmを超え20.0cm以下, [碎石の種類]=再生クワッツァン 40~0

第 19 号 一位代価表 プレキャストマンホール据付工
 質量2000Kg/基以下
 基礎碎石無又は円形断面以外
 ※施工パッケージ単価
 (Ⅱ-2-⑩-22) DP020071-J01*
 1 基 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	K 3.01			/H
バックホ(クロー型)	標準型・クラン付 山積0.45/平積0.35m3 吊2.9t 排出ガス対策型(第1次基準値)	%	K1 2.99			02-02-122-035-001 H00090T
労務構成比		%	R 12.67			/H
普通作業員		%	R1 5.45			県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
運転手(特殊)		%	R2 3.86			県単価・2019/04/01・労務1 CR0140
土木一般世話役		%	R3 2.75			県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
特殊作業員		%	R4 0.49			県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
材料構成比		%	Z 84.32			/H
ハンドホール	H1-9 (600×900) 中耐蓋付	%	Z1 83.24			局独自 Y0103
軽油	1, 2号 バトロール給油	%	Z2 1.07			県単価・2020/01/01・104 CT6912

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
	1 基 当り					

DP020071
 <条件区分>
 【作業区分】=据付, [製品質量]=2000Kg/基以下, [基礎碎石]=無しまたは円形断面以外

第 20 号 一位代価表 コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)工

削孔径64~77mm未満
 削孔深50~200mm未満

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	K 3.31			/H
コンクリート穿孔機(電動式コアローリングマシン)	簡易仕様型 最大穿孔径 φ25cm	%	K1 1.68			20-15-011-025-000 H55270T
発動発電機賃料	ガソリンエンジン駆動 定格容量3kVA	%	K2 1.01			県単価・2020/01/01・123 H51840R
労務構成比		%	R 64.4			/H
特殊作業員		%	R1 37.28			県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
普通作業員		%	R2 9.88			県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
土木一般世話役		%	R3 5.21			県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
材料構成比		%	Z 32.29			/H
ダイヤモンドビット	77.4mm スタンダード	%	Z1 29.38			県単価・2020/01/01・110 CM0211
ガソリン	レギュラー スタンド渡し	%	Z2 2.37			県単価・2020/01/01・104 CT6910

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
	1孔 当り					

DP020138
 <条件区分>
 【削孔径】=64mm以上77mm未満, 【削孔深さ】=50mm以上200mm未満

第 21 号 一位代価表 コンクリート工(18-8-25(20) W/C指定無し) 無筋・鉄筋構造物 一般養生 小型車

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	R 31.82			/H
普通作業員		%	R1 14.9			県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
特殊作業員		%	R2 8.39			県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
土木一般世話役		%	R3 6.32			県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
材料構成比		%	Z 68.18			/H
生コンクリート (高炉)	18-8-25(20)W/C指定無し 小型車 横浜単価	%	Z1 68.18			局独自 Y0102
	1m3 当り					

DP020102
 <条件区分>
 【構造物種別】=無筋・鉄筋構造物, 【打設工法】=人力打設, 【コンクリート規格】=24-12-25(20)(高炉), 【養生工の種類】=一般養生, 【現場内小運搬の有無】=無し
 【小型車割増の有無】=無し

第 22 号 一位代価表 一般型枠工

鉄筋・無筋構造物

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	100			/H
型わく工		%	R1 47.76			県単価・2019/04/01・労務1 CR0320
普通作業員		%	R2 24.47			県単価・2019/04/01・労務1 CR0020
土木一般世話役		%	R3 9.08			県単価・2019/04/01・労務1 CR0240
	1 m2 当り					

DP020104
 <条件区分>
 [型枠の種類]=一般型枠, [構造物の種類]=鉄筋・無筋構造物

第 23 号 一位代価表 小型バックホ(クローラ型)運転

標準型 山積0.08/平積0.06m3
 排出ガス対策型(第1次基準値)

J1154-J01

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
軽油	1. 2号 パトロール給油	L	18			県単価・2020/01/01・104 CT6912
小型バックホ(クローラ型)	標準型 山積0.08/平積0.06m3 排出ガス対策型(第1次基準値)	供用日				02-01-112-006-001 H11540T
諸雑費		式	1			#99
計	1日 当り					

機-2 3, [労務数量]=1, [燃料消費量]=18, [損料数量]=1.78, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]='基準書指定'

第 24 号 一位代価表 タンパ運転

質量60~80kg

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				県単価・2019/04/01・労務1 CR0010
ガソリン	レギュラー スタンド渡し	L	5			県単価・2020/01/01・104 CT6910
タンパ及びリマ(リマ)賃料	質量60~80kg	供用日				県単価・2020/01/01・125 H39520R
諸雑費		式	1			#99
計		1日 当り				

機-3 1, [労務数量]=1, [燃料消費量]=5, [賃料数量]=1.38, [公害対策機種]=基準書指定, [低騒音機種]=基準書指定

見 積 参 考 資 料

単独基礎単価一覧表

2020年1月1日

コード	名称	規格	単位	単価	区	構成比	摘要
Y0001	直流電源装置	60V-20A 2回路(SUS製) 単相200V	面	2,610,000	3		局独自
Y0002	600V EM-CE 38mm2(3芯)		m	1,210	1		局独自
Y0003	600V EM-CE 38mm2(2芯)		m	874	1		局独自
Y0004	600V EM-CE 38mm2(1芯)		m	398	1		局独自
Y0005	600V EM-CE 5.5mm2(3芯)		m	277	1		局独自
Y0006	600V EM-CE 5.5mm2(2芯)		m	218	1		局独自
Y0007	600V EM-CE 5.5mm2(1芯)		m	96	1		局独自
Y0008	PVDF 35mm2(1芯)		m	2,340	1		局独自
Y0009	600V EM-IE 5.5mm2		m	74	1		局独自
Y0010	ベルマウス	FEP用 φ30	個	411	1		局独自
Y0011	ベルマウス	FEP用 φ65	個	481	1		局独自
Y0012	クランプ	FEP用 φ50	組	2,750	1		局独自
Y0013	樹脂製プルボックス(防水 被せタイプ)	250mm×250mm×200mm	個	3,650	1		局独自
Y0014	連結式接地棒	φ14mm×1500	本	2,180	1		局独自
Y0015	接地棒用リード端子	φ14mm用	個	555	1		局独自
Y0016	輸送費		式	76,500	99		局独自
Y0017	漏電遮断器	2P40AT	個	5,560	1		局独自

P-1

単独基礎単価一覧表

2020年1月1日

コード	名称	規格	単位	単価	区	構成比	摘要
Y0018	通電電極設置工		m	16,227	99		局独自
Y0019	照合電極設置工		箇所	48,996	99		局独自
Y0020	ターミナル設置工		箇所	134,730	99		局独自
Y0021	波付硬質ポリエチレン管	30mm	m	218	1		局独自
Y0022	波付硬質ポリエチレン管	50mm	m	283	1		局独自
Y0023	波付硬質ポリエチレン管	65mm	m	345	1		局独自
Y0024	通電電極	MMO-WIRE 80m	本	1,800,000	99		局独自
Y0025	通電電極	MMO-WIRE 20m	本	450,000	99		局独自
Y0026	通電電極	MMO-WIRE 1.5m	本	33,750	99		局独自
Y0027	照合電極	5S型	本	2,700	99		局独自
Y0028	ターミナル	PL-III型	本	27,000	99		局独自
Y0029	ボンドターミナル		個	27,000	99		局独自
Y0101	再生クラッシュラン	RC-40 横浜単価	m3	1,270	3		局独自
Y0102	生コンクリート(高炉)	18-8-25(20)W/C指定無し 小型車 横浜単価	m3	14,500	9		局独自
Y0103	ハンドホール	H1-9(600×900) 中耐蓋付	基	71,400	1		局独自
Y0104	ネットフェンス設置工(溶 融亜鉛めっき)	両開き門扉,材料費含む H=2000 金網φ3.2	式	327,400	99		局独自
Y0105	ネットフェンス処理料	処分費の対象	式	12,520	15		局独自

P-2

資 材 調 書

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
明示シート (鉄管類)	幅40cm 上下水道局に連絡して下さい印字	m	66			局独自 A1518
600V EM-CE 38mm2 (3芯)		m	76.6			局独自 Y0002
600V EM-CE 38mm2 (2芯)		m	364			局独自 Y0003
600V EM-CE 38mm2 (1芯)		m	471			局独自 Y0004
600V EM-CE 5.5mm2 (3芯)		m	76.6			局独自 Y0005
600V EM-CE 5.5mm2 (2芯)		m	108			局独自 Y0006
600V EM-CE 5.5mm2 (1芯)		m	745			局独自 Y0007
PVDF 35mm2 (1芯)		m	75.8			局独自 Y0008
600V EM-IE 5.5mm2		m	5.5			局独自 Y0009
ベルマウス	FEP用φ30	個	1			局独自 Y0010
ベルマウス	FEP用φ65	個	2			局独自 Y0011

P-1

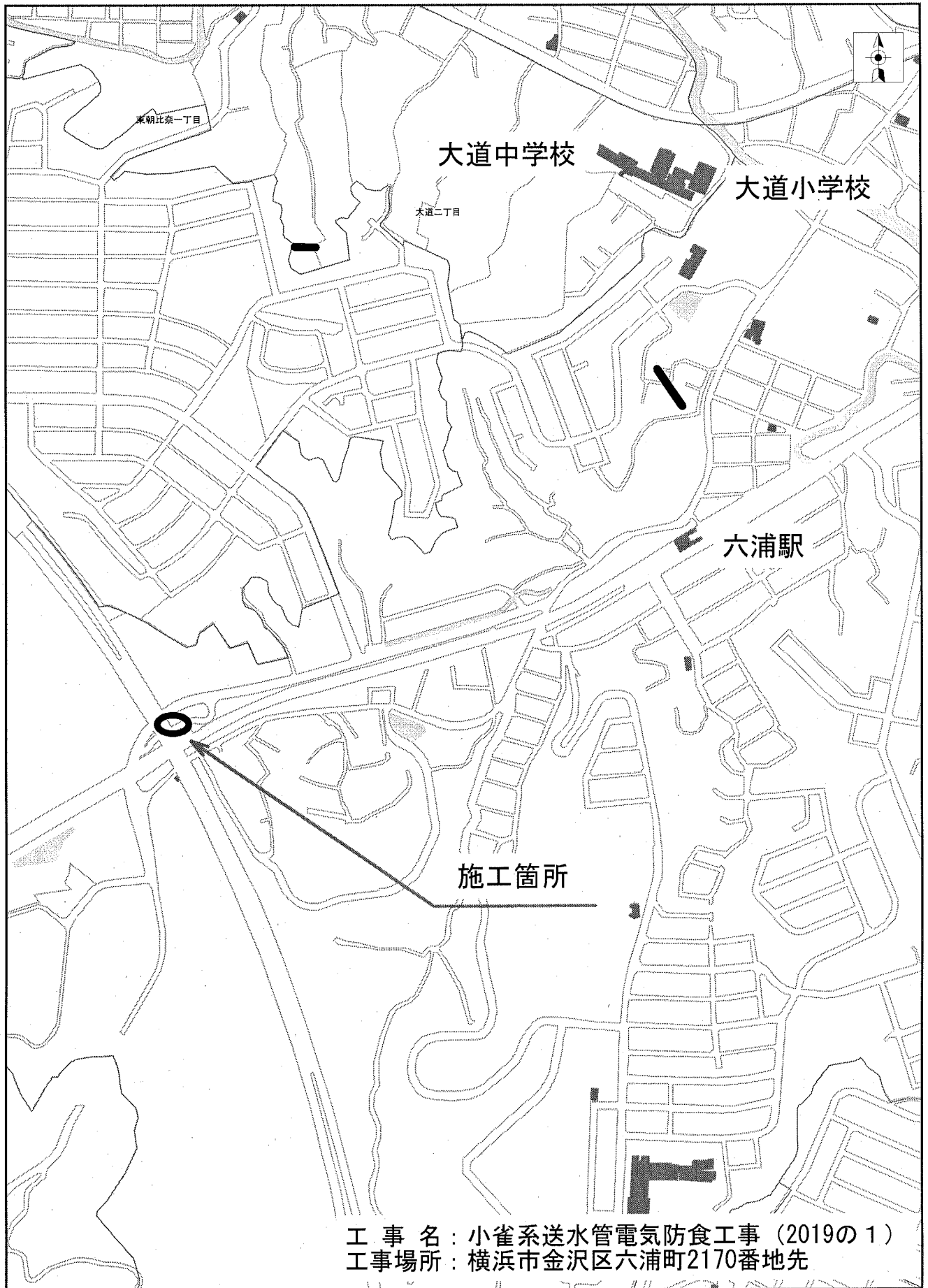
付 属 1

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
クランプ	FEP用φ50	組	26			局独自 Y0012
樹脂製ブルボックス (防水被せタイプ)	250mm×250mm×200mm	個	9			局独自 Y0013
連結式接地棒	φ14mm×1500	本	2			局独自 Y0014
接地棒用リード端子	φ14mm用	個	1			局独自 Y0015
漏電遮断器	2P40AT	個	1			局独自 Y0017
波付硬質ポリエチレン管	30mm	m	10.6			局独自 Y0021
波付硬質ポリエチレン管	50mm	m	899			局独自 Y0022
波付硬質ポリエチレン管	65mm	m	76.6			局独自 Y0023
(一般資材(二次製品)計)						+00
ガソリン	レギュラー スタンド渡し	L	4.35			県単価・2020/01/01・104 CT6910
軽油	1. 2号 パトロール給油	L	24.46			県単価・2020/01/01・104 CT6912

P-2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋金網 (SD295)	D6×150×150	m2	6			県単価・2020/01/01・9 R0037
再生クラッシャーラン	RC-40 横浜単価	m3	62			局独自 Y0101
〈一般資材(非二次製品)計〉						+00
ネットフェンス処理料	処分費の対象	式	1			局独自 Y0105
〈処分費等計〉						+00
《二次製品計》						+00

位置図



工事名: 小雀系送水管電気防食工事 (2019の1)
工事場所: 横浜市金沢区六浦町2170番地先

※この地図の作製に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平28情使 第1003号)